

第67期 第2回 日本物理学会男女共同参画推進委員会 会議録

日時：2012年3月1日(木) 14:00～16:05

場所：日本物理学会会議室

出席：笹尾，高山，加賀山，小形，江尻，興治，村上，湯浅，嘉規，富樫（事務局）

* 議事に先立ち各委員の自己紹介をする。

議題：

< 報告事項および審議事項 >

(1) 前回議事録：「資料1」の承認

(2) 学協会連絡会報告

- 「資料2-1」第10期第1回運営委員会議事録：小形
- 「資料2-2」要望書：笹尾
 - － 理事会（2012年3月9日）で承認を得て報告
 - － 内容に関する意見 → 笹尾まで

(3) 第3回大型アンケートの設問項目：江尻

- 「資料3」の設問に関するアンケート（解答期限：3月6日）
- 育休，介護休に対する意識の変化等が調べられ調査
- 政策への要望：時限的なものでなく，継続的なもの
- 他のアイデア → 江尻まで

(4) 日物応物連絡会立ち上げについての報告：笹尾

- 「資料4-1」覚書
- 「資料4-2」第1回連絡会議事メモ

(7) APPC-WIP 2013 日本開催についての報告：笹尾

- 「資料7-1」第541回理事会資料：AAPC12
- 「資料7-2」AAPPSのWIPに関するAPPC12組織委員会への提案
 - － 参加者の旅費補助を得るために企業への援助の要請，その他補助金等への応募を考える。
 - － 物理教育学会へも声をかけて情報を提供する。

(5) シンポジウムの準備と議論の方向性について：笹尾・加賀山

- 招待講師（佐藤・澤田）の旅費の問題
 - － 年会プログラムとしてのシンポジウムには会員の旅費は出せないとのこと。
 - － 委員会としては予算を取ってあるので，理事会にかけあう。

- 3月26日午後には「福島原発事故と物理学者の社会的責任」シンポジウムも開催される．参加者を集めるための努力が必要．周りに声をかけて参加を呼び掛ける．
- 内閣府への意見（文責：笹尾）にシンポジウムの方向性がまとめて述べられている．

(6) 2012 夏の学校について：興治

- 「資料6」による実行員会の内容報告
- 開催日時：2012年8月9日 - 11日，開催場所：国立女性教育会館
- 参加形態：ポスター，実験（物理チャレンジ等の教材を活用する：興治）
- 助成金に応募するが，採択されない場合には，参加学会に登録料（約10万円）が求められる可能性がある．

(8) 最近の物理学会の活動報告：笹尾

- 新法人への移行
- APPCの組織委員会の開催
- 物理学会事務局の引っ越し
- 引っ越しに伴う資料整理：国立国会図書館へ送る（確認：湯浅）
ポスター等PDFでHPにおいておく．

(9) その他

a. 年会シンポジウム

- 出欠確認（欠席：興治）
- シンポジウムポスターの作成：興治
- 終了後の懇親会を予定（招待講師＋委員）

b. 次回委員会日程：5月頃新旧委員合同を予定（新事務局）

< 配布資料 >

資料1：前回議事録

資料2-1：第10期第1回運営委員会議事録

資料2-2：東日本大震災・福島第一原発事故後にその重要性が特に高まっている
科学技術分野における男女共同参画・多様性の加速に向けての要望（案）

資料3：大型アンケート設問に関するアンケート

資料4-1：日本物理学会応用物理学会男女共同参画連絡会覚え書き

資料4-2：第1回日物応物男女共同参画連絡会 議事メモ（案）

資料5-1：年会プログラム（シンポジウム）

資料5-2：シンポジウム概要（ワークライフバランス - 物理研究者の場合：笹尾）

資料5-3：シンポジウム概要（大規模アンケート調査にみるワークライフバランス：
江尻）

資料 5-4：シンポジウム概要（在職場時間とワークライフバランス - 研究所研究者の場合：村上）

資料 5-5：内閣府への意見書

資料 6：女子中高生夏の学校 2012：第 3 回実行員会議事録（案）

資料 7-1：「第 12 回アジア太平洋物理会議（第 541 回理事会審議資料）」

資料 7-2：APPC12 組織委員会への（日物応物連絡会からの）提案

資料：シンポジウム概要（企業のワークライフバランス支援 - 働き方の改革：佐藤）

（以上：文責 嘉規香織）